**平成２８年度　事業報告（総括）**

　平成２８年度は、平成２７年度介護報酬マイナス改定（△２.２７％）という逆風への対応および介護保険頼りの経営からの脱却という点で、法人としての総合力・底力が試される一年でした。

法人全体としては、

〇重症心身障がい者施設ハビリテーリングセンターvivreの事業開始

○社会福祉法人制度改革への適正な対応

　等が主な事業活動として挙げられます。

資金収支計算書における事業活動収入は３６億７７２７万６千円（＋０．５％）、事業活動資金収支差額は６億７４６１万９千円（＋５．４％）を確保しました。事業活動収入に占める高齢者介護以外の事業（保育、障がい、医療、教育）比率は２．８％から４．１％と、介護保険頼りの収益構造から着実な歩みを遂げています。

事業活動計算書におけるサービス活動収益は３６億６５０３万５千円（＋０．４％）、経常増減差額は３億８２９６万５千円（＋３．９％）と、増収増益となりました。

貸借対照表では、純資産から総資産を除した比率いわゆる自己資本比率は５４．１％と、従来以上に安定感の増した財務体質となっています。

　平成２９年度は、社会福祉法人制度改革が準備段階から実際の運用へと変わります。公益法人として求められるガバナンス体制をより強固なものとし、将来に向けた内部体制・内部組織作りに注力しながら事業活動に邁進していく所存です。

平成２９年５月２５日

社会福祉法人はぴねす福祉会

理事長　長野　文彦